

新ユニットリンク保険(有期型)【無配当】(一時払)



特別勘定の月次運用実績レポート

2026 年 7 月度

<目次>

1. 特別勘定の種類	1	ページ
2. 運用環境の主な状況	2	ページ
3. 特別勘定の運用実績・状況	3	ページ
4. [参考情報]投資信託の運用実績・状況	4-13	ページ
5. 当保険商品のリスク・諸費用・ご留意いただきたい事項	14	ページ

[募集代理店]

[引受保険会社]

SMBC日興証券株式会社



アクサ生命保険株式会社

<お知らせ>

特別勘定の運用関係費の引下げおよび運用収益の向上を目的として、投資信託を以下の通り変更いたします。特別勘定の運用方針の変更はありません。

- 特別勘定:日本株インデックスTOPIXファンド
投資信託:「インデックスファンドTSP」から「国内株式インデックス・ファンドVA (適格機関投資家専用)」へ変更
特別勘定の運用関係費:0.5720%程度から0.0605%程度へ変更
変更月:2026年7月以降
- 特別勘定:グローバルグロースファンド
投資信託:「Gグロース」から「セクション・ジャパン・エクイティ」および「アクサ・グローバル・エクイティ・セクション」へ変更
特別勘定の運用関係費:1.4300%程度から0.51155%程度へ変更
変更月:2026年7月以降
- 特別勘定:日本株エポリューションファンド
投資信託:「日興エポリューション」から「セクション・ジャパン・エクイティ」へ変更
特別勘定の運用関係費:1.7490%程度から0.8260%程度へ変更
変更月:2026年9月以降

〒108-8020 東京都港区白金1-17-3

TEL 0120-933-399

月～金 9:00～18:00 土 9:00～17:00

(日・祝日および12月31日～1月3日を除く)

www.axa.co.jp

当保険商品は、現在、新規のお申し込みをお受けしておりません。

当資料は、特別勘定の運用実績等をご契約者さまへお知らせするための資料であり、生命保険契約の募集および投資信託の勧誘を目的としたものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご了承ください。

アクサ生命は、「運用環境の主な状況」などを信頼できると考えられる情報に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性については、これを保証するものではありません。また、「運用実績・状況」に係る内容はいかなるものも過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

特別勘定の種類

特別勘定 [ファンド]名	運用方針	主な運用対象の投資信託	投資信託の委託会社
日本株 投資力学 ファンド	日本の経済および産業構造の中長期的展望に基づき、今後有望とみられる成長産業、成長企業の国内株式をトップダウンで選択する投資信託に主に投資することによって東証株価指数を中長期的に上回る投資成果をあげること为目标にします。	日興アクティブ・ダイナミクス (投資力学)	アモーヴァ・アセット マネジメント株式会社
日本株 ジパング ファンド	日本の経済および産業構造の中長期的展望に基づき、今後有望とみられる成長産業、成長企業の国内株式をボトムアップで選択する投資信託に主に投資することによって東証株価指数を中長期的に上回る投資成果をあげること为目标にします。	日興ジャパン オープン (ジパング)	アモーヴァ・アセット マネジメント株式会社
日本株 エボリューション ファンド	全世界の経済動向および産業構造の中長期的展望に基づき、今後有望とみられる国内株式を主な投資対象とする投資信託に主に投資することによって中長期的な投資成果を積極的にあげること为目标にします。	日興エボリューション	アモーヴァ・アセット マネジメント株式会社
日本株 インデックス 225ファンド	国内上場株式に投資することにより、日経平均株価指数に連動した投資成果をあげること为目标にします。	インデックスファンド 225VA (適格機関投資家向け)	アモーヴァ・アセット マネジメント株式会社
日本株 インデックス TOPIXファンド	国内上場株式に投資することにより、東証株価指数に連動した投資成果をあげること为目标にします。	国内株式 インデックス・ファンドVA (適格機関投資家専用)	ブラックロック・ジャパン 株式会社
グローバル グロース ファンド	日本を含む世界主要先進国の株式の中から特に世界的に競争力に優れた成長企業の株式に投資し、外貨建ベースの優れた収益の獲得を目指す投資信託に主に投資することによって、中長期的な観点から、日本を含む世界主要先進国の株式市場全体(MSCIワールド指数)の動きを上回る投資成果を目指します。	セレクション・ジャパン・ エクイティ	アーキタス・ マルチマネージャー・ ヨーロッパ・リミテッド
		アクサ・グローバル・ エクイティ・セレクション	
グローバル ソブリン債券 ファンド	世界先進国の信用度の高いソブリン債(※)を中心に分散投資する投資信託に主に投資することによって、安定した収益の確保と長期的な成長を目指す。 (※ソブリン債とは、各国政府や政府機関が発行する債券の総称です。主要先進国の国債や世界銀行、アジア開発銀行などの国際機関が発行する債券が含まれます。)	アクサ・グローバル・ボンド	アーキタス・ マルチマネージャー・ ヨーロッパ・リミテッド
グローバル リート ファンド	世界各国の上場不動産投信(REIT=Real Estate Investment Trust)を主な投資対象とする投資信託に主に投資することにより、中長期的に高い投資成果をあげること为目标とします。	日興グローバルREIT ファンド(6カ月決算型)	(運用会社)アモーヴァ・ アセットマネジメント株式会社 (投資再委託会社) ノムラ・インベストメント・ マネジメント・アドバイザーズ
マネー ファンド	マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に、主として円建ての短期公社債や短期金融商品に投資し、安定した収益の確保をめざします。	アクサ ローゼンバーグ・ 日本円マネー・プール・ ファンド(B) <適格機関投資家私募>	BNPパリバ・ アセットマネジメント 株式会社

※特別勘定の種類、運用方針および委託会社等の運用協力会社は、法令等の改正または効率的な資産運用が困難になる等の理由により、変更されることがあります。なお、委託会社等の運用協力会社については、運用成績の悪化等、当社がお客さまの資産運用にふさわしくないと判断した場合、変更させていただくことがあります。

※特別勘定には、各種支払等に備え、一定の現金、預金等を保有することがあります。

※新ユニット・リンク保険(有期型)には複数の特別勘定グループが設定されており、「LifeDO」、「LifeDO80」には

「特別勘定グループ(日興型)」が設定されています。保険料繰り入れおよび積立金の移転は「特別勘定グループ(日興型)」に属する特別勘定に限定されます。「特別勘定グループ(日興型)」以外の特別勘定グループに属する特別勘定への保険料の繰り入れおよび積立金の移転はできません。

※「マネーファンド」は株価、債券価格、為替等の変動の影響を受ける可能性が低いことを想定した特別勘定です。

ただし、低金利環境下(マイナス金利を含む)では、「マネーファンド」の積立金の増加が期待できないだけでなく、諸費用の控除等により積立金が減少することもありますのでご注意ください。

※特別勘定「グローバルカレンシーファンド」は、2017年6月30日をもって廃止しました。

運用環境の主な状況

(2026年7月末現在)

■ 日本株式市場

TOPIX(東証株価指数)は前月末比+0.21%の4003.30ポイントとなりました。7月の日本株式市場は、米国ハイテク株安や韓国株安の影響を受け、AI(人工知能)・半導体関連銘柄を中心に売られる展開となりました。日経平均株価は下落し4か月ぶりの反落となりましたが、TOPIXはほぼ横ばいで推移し、市場全体としては底堅さも見られました。中東情勢の緊迫化も重荷となりましたが、国内企業の業績自体は堅調に推移しており、市場の下支え要因となりました。

日本小型株式市場は下落しました。

■ 外国株式市場

米国株式市場では、NYダウ工業株30種が前月末比+0.32%の52,485.03ドルとなりました。7月の米国株式市場は、力強い第2四半期決算を追い風にダウ平均が上昇した一方、AI関連の巨額投資への懐疑的な見方が広がり、ハイテク株中心のナスダック総合は下落しました。資金は主力ハイテク株から、エネルギーや金融などのセクターや中小型株へと分散する動きが見られました。

欧州株式市場では、独DAX指数が前月末+2.53%、仏CAC40指数が前月末比+1.26%となりました。7月の欧州株式市場は、好調な企業決算を追い風に上昇しました。一方で、中東情勢の緊迫化に伴う原油高やAI関連投資の持続性への懸念が重荷となる場面がありましたが、堅調な企業業績が下支えし、市場全体は底堅さを維持しました。

新興国株式市場は下落しました。先進国リート市場は上昇しました。

■ 日本債券市場

10年国債の金利は上昇(価格は下落)し、月末には2.805%となりました(前月末2.683%)。7月の日本債券市場は、日銀が7月の会合で政策金利の据え置きを決定したものの、追加利上げ観測から金利は上昇しました。中東情勢の緊迫化に伴う原油高が物価の上振れリスクとして意識されたことも、金利上昇の一因となりました。

■ 外国債券市場

米国債券市場では、米10年国債の金利は上昇(価格は下落)し、月末には4.735%となりました(前月末4.465%)。7月の米国債券市場は、金利上昇が続く展開となりました。FRB(連邦準備制度理事会)はFOMC(連邦公開市場委員会)で政策金利を5会合連続で3.50~3.75%に据え置いたものの、FOMCメンバーの数名が利上げを主張するなど意見が分かれ、9月利上げ観測が強まりました。中東情勢の緊迫化に伴う原油の高騰によるインフレ圧力も金利上昇を後押ししました。

米国ハイ・イールド債券市場は価格が下落しました。

欧州債券市場では、独10年国債の金利は上昇(価格は下落)し、月末には3.206%となりました(前月末2.860%)。2026年7月の欧州債券市場は、中東情勢の緊迫化を背景とした原油高への警戒から、金利が上昇する展開となりました。

■ 外国為替市場

米ドル/円相場は前月末比-1.67円の160.72円となりました。7月の米ドル/円相場は、月初から中旬にかけてFRBのインフレ抑制姿勢を受け米ドル高・円安が進行しました。しかし月末には日米当局による円買い協調介入が実施され、一転して円高となりました。

ユーロ/円相場は前月末比-0.23円の185.12円となりました。7月のユーロ/円相場は、ECB(欧州中央銀行)が会合で政策金利を据え置きつつも、インフレ懸念を背景に次回会合での利上げを示唆したことはユーロ買い要因となりましたが、月末に実施された日米当局による米ドル売り・円買いの協調介入の効果がそれを上回り、対ユーロでも円高が進む結果となりました。

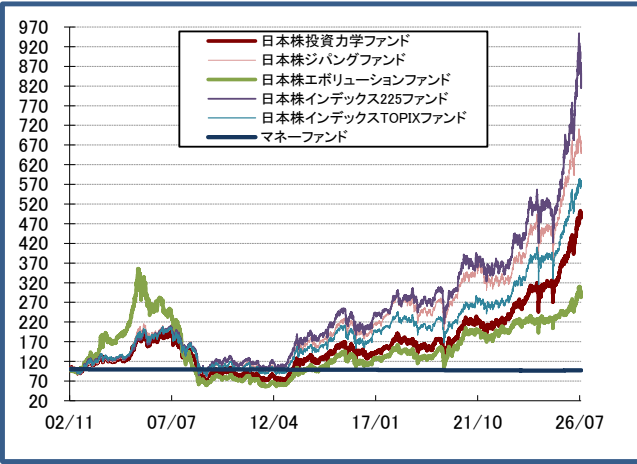
特別勘定の運用実績・状況

(2026年7月末現在)

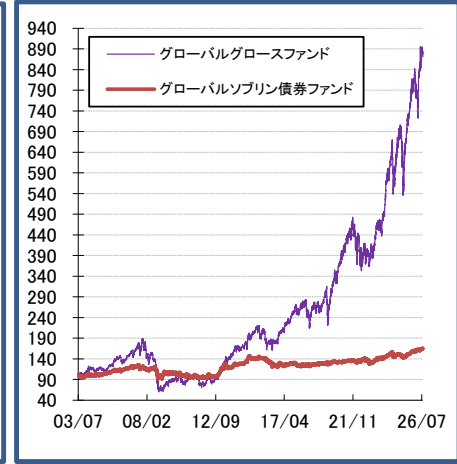
特別勘定のユニット・プライスの推移

※特別勘定のユニット・プライスは特別勘定で利用している投資信託の基準価額とは異なります。

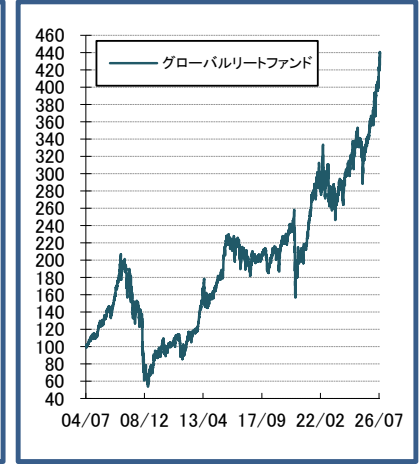
[2002/11運用開始]



[2003/07運用開始]



[2004/07運用開始]



特別勘定名	ユニット・プライス 2026年7月末	騰落率(%)					
		1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
日本株投資力学ファンド	489.03	2.26	11.74	19.83	40.40	82.62	389.03
日本株ジパングファンド	664.47	△ 2.75	2.77	8.00	32.00	72.58	564.47
日本株エボリューションファンド	290.17	△ 5.23	8.41	15.34	22.78	28.57	190.17
日本株インデックス225ファンド	852.58	△ 7.81	8.18	20.49	55.37	94.88	752.58
日本株インデックスTOPIXファンド	571.19	0.15	7.03	12.62	36.31	76.30	471.19
グローバルグロースファンド	871.29	△ 0.80	5.15	8.05	19.28	85.79	771.29
グローバルソブリン債券ファンド	165.40	0.87	1.75	5.24	9.35	18.57	65.40
グローバルリートファンド	425.66	0.40	6.40	18.06	25.40	48.04	325.66
マネーファンド	97.22	0.04	0.17	0.30	0.48	0.37	△ 2.78

※ユニット・プライスとは、特別勘定の運用実績を把握するための便宜上の参考値で、各特別勘定の運用開始時の値を「100」として指数化したものです。

※騰落率は、当月末における、上記各期間のユニット・プライスの変動率を表しています。

※各特別勘定のユニット・プライスは、アクサ生命ホームページにて各営業日にご確認ください。

特別勘定資産の内訳 千円単位

	日本株投資力学ファンド		日本株ジパングファンド		日本株エボリューションファンド		日本株インデックス225ファンド		日本株インデックスTOPIXファンド	
	金額	%	金額	%	金額	%	金額	%	金額	%
現預金・その他	37,475	4.3	47,273	4.5	47,299	4.1	176,391	3.9	40,658	4.4
その他有価証券	826,331	95.7	995,637	95.5	1,109,007	95.9	4,300,722	96.1	880,112	95.6
合計	863,807	100.0	1,042,911	100.0	1,156,306	100.0	4,477,114	100.0	920,771	100.0

	グローバルグロースファンド		グローバルソブリン債券ファンド		グローバルリートファンド		マネーファンド	
	金額	%	金額	%	金額	%	金額	%
現預金・その他	47,666	4.2	10,112	4.5	22,698	4.3	16,019	9.9
その他有価証券	1,075,091	95.8	214,768	95.5	509,191	95.7	145,304	90.1
合計	1,122,757	100.0	224,881	100.0	531,890	100.0	161,324	100.0

※各特別勘定で利用している国内投資信託は、いずれも「その他有価証券」の項目に含まれています。

※金額の単位未満は切捨てとしました。また、比率については小数点第二位を四捨五入しています。

日本株投資力学ファンド

[ご参考 主な投資対象とする投資信託の運用実績・状況]

(2026年7月末現在)

日興アクティブ・ダイナミクス(投資力学)

アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社

■ 投資信託の特徴

1. あらゆる局面において、ベンチマークであるTOPIX(東証株価指数) 配当込みの動きを上回る投資成果をめざします。
2. 「投資構造」を理解した上で、「モチーフ」(投資動機)を描き、その実現に相応しい銘柄に投資します。

■ 純資産総額

58 億円

■ 設定日

2000年12月15日

■ 基準価額・ベンチマーク(BM)騰落率 表示桁数未満四捨五入

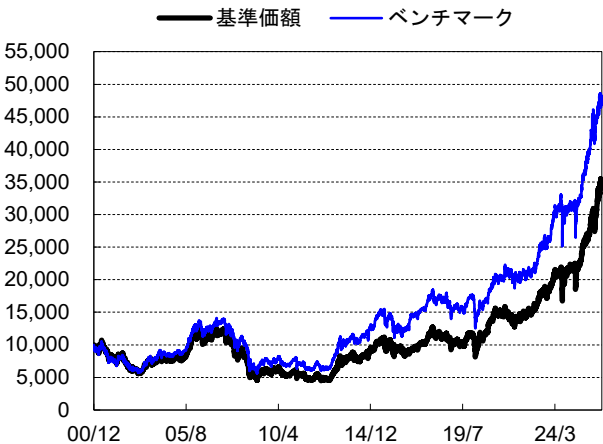
%	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
基準価額	2.39	12.36	20.82	42.89	88.87	244.36
BM	0.22	7.59	13.57	39.16	84.94	374.43
差異	2.17	4.77	7.25	3.73	3.92	△ 130.08

■ ベンチマーク

TOPIX(東証株価指数)配当込み

■ 基準価額の推移

※設定日の前営業日を10,000として指数化しています。



※基準価額の騰落率は、分配金(税引前)を再投資し計算しています。
※TOPIXに関する著作権等の知的財産権その他一切の権利は株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社に帰属します。

■ 株式組入上位10銘柄

銘柄数: 38

	銘柄	業種	%
1	りそなホールディングス	銀行業	6.7
2	ウエストホールディングス	建設業	5.2
3	旭化成	化学	4.1
4	L I N Eヤフー	情報・通信業	4.1
5	コーエーテクモホールディングス	情報・通信業	3.9
6	富士電機	電気機器	3.8
7	三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	3.7
8	日油	化学	3.6
9	サイバーエージェント	サービス業	3.5
10	ホシザキ	機械	3.4

■ 資産構成比率(%)

株式	96.7
うち先物	0.0
現金その他	3.3

※「資産構成比率」「株式組入上位10銘柄」は純資産総額をそれぞれ100%として計算したものです。
※「株式組入上位10銘柄」はマザーファンドの状況です。

日本株ジパングファンド

[ご参考 主な投資対象とする投資信託の運用実績・状況]

(2026年7月末現在)

日興ジャパンオープン(ジパング)

アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社

■ 投資信託の特徴

1. 中長期的な観点から、わが国の株式市場全体(TOPIX(東証株価指数)配当込み)の動きを上回る投資成果の獲得をめざします。
2. 徹底したボトムアップ・リサーチによって本当の企業価値を明らかにし、投資価値の高い銘柄を厳選した投資を行ないます。
「グロース」や「バリュー」などの運用スタイルを限定することなく、幅広い収益機会を捉えます。

■ 純資産総額

548 億円

■ 設定日

1998年8月28日

■ 基準価額・ベンチマーク(BM)騰落率 表示桁数未満四捨五入

%	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
基準価額	△ 2.86	2.95	8.43	33.98	77.39	378.88
BM	0.22	7.59	13.57	39.16	84.94	493.67
差異	△ 3.07	△ 4.64	△ 5.14	△ 5.18	△ 7.55	△ 114.79

■ ベンチマーク

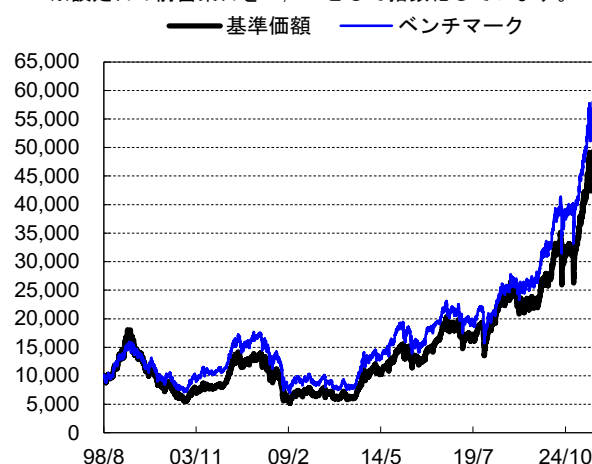
TOPIX(東証株価指数)配当込み

※基準価額の騰落率は、分配金(税引前)を再投資し計算しています。

※TOPIXに関する著作権等の知的財産権その他一切の権利は株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社に帰属します。

■ 基準価額の推移

※設定日の前営業日を10,000として指数化しています。



■ 株式組入上位10銘柄

銘柄数: 79

	銘柄	業種	%
1	三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	5.22
2	三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	3.86
3	みずほフィナンシャルグループ	銀行業	3.17
4	三井物産	卸売業	2.83
5	東京海上ホールディングス	保険業	2.78
6	トヨタ自動車	輸送用機器	2.73
7	東京エレクトロン	電気機器	2.56
8	ソニーグループ	電気機器	2.32
9	三菱商事	卸売業	2.31
10	ファナック	電気機器	2.29

※「資産構成比率」「株式組入上位10銘柄」は純資産総額を100%として計算したものです。

※「株式組入上位10銘柄」はマザーファンドの状況です。

■ 資産構成比率(%)

株式	99.0
うち先物	0.0
現金その他	1.0

日本株エボリューションファンド

[ご参考 主な投資対象とする投資信託の運用実績・状況]

(2026年7月末現在)

日興エボリューション

アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社

■ 投資信託の特徴

1. 「進化し続ける企業」に厳選投資を行ないます。
 2. 株式の調査・運用に精通したアモーヴァ・アセットマネジメントが運用を行ないます。
- ※日本株式を中心に運用しますが、純資産総額の30%を上限に外国株式にも投資することがあります。
※中長期的な株式市場の下落局面では、国内株価指数先物による売りヘッジ及び米国国債への投資を行なうことがあります。
(共に純資産総額の50%を上限とします。)

■ 純資産総額

93 億円

■ 設定日

2000年4月21日

■ 基準価額騰落率 表示桁数未満四捨五入

%	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
基準価額	△ 5.44	8.88	16.13	24.14	30.94	65.74

※基準価額の騰落率は、分配金(税引前)を再投資し計算しています。

■ ベンチマーク

なし

■ 基準価額の推移



■ 株式組入上位10銘柄

銘柄数: 67

	銘柄	通貨	業種	%
1	アドバンテスト	日本円	電気機器	4.40
2	SMC	日本円	機械	3.64
3	三菱UFJフィナンシャル・グループ	日本円	銀行業	3.60
4	日立製作所	日本円	電気機器	3.43
5	バンダイナムコホールディングス	日本円	その他製品	3.38
6	四国化成ホールディングス	日本円	化学	2.79
7	朝日インテック	日本円	精密機器	2.76
8	鹿島建設	日本円	建設業	2.67
9	ソニーグループ	日本円	電気機器	2.58
10	富士紡ホールディングス	日本円	繊維製品	2.55

※「株式組入上位10銘柄」は純資産総額を100%として計算したものです。

日本株インデックス225ファンド

[ご参考 主な投資対象とする投資信託の運用実績・状況]

(2026年7月末現在)

インデックスファンド225VA(適格機関投資家向け)

アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社

■ 投資信託の特徴

1. 日本株式市場全体の動きをとらえ、日経平均トータルリターン・インデックスの動きに連動する投資成果をめざします。
2. モダンポートフォリオ理論に基づく「バーラ日本株式モデル」に従って、わが国の金融商品取引所に上場されている株式※の中から、原則として200銘柄以上に投資します。
※東京証券取引所プライム市場に上場されている株式となります。

■ 純資産総額

59 億円

■ 設定日

2002年9月12日

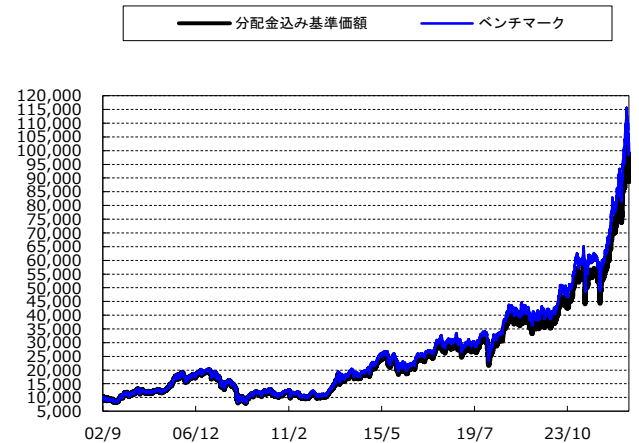
■ 基準価額・ベンチマーク(BM) 騰落率 表示桁数未満四捨五入

%	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
基準価額	△ 8.17	8.54	21.44	58.69	102.22	829.91
BM	△ 8.13	8.68	21.71	59.40	104.95	929.26
差異	△ 0.04	△ 0.13	△ 0.27	△ 0.71	△ 2.73	△ 99.34

■ ベンチマーク

日経平均トータルリターン・インデックス

■ 基準価額の推移



※ファンド(分配金再投資)の収益率は、当ファンド決算時に分配金があった場合の分配金を再購入(再投資)し、算出しています。

■ 株式組入上位10銘柄

組入銘柄数 225

	銘柄	%
1	アドバンテスト	12.17
2	ファーストリテイリング	9.76
3	東京エレクトロン	8.66
4	ソフトバンクグループ	6.56
5	T D K	2.35
6	リクルートホールディングス	1.96
7	ファナック	1.85
8	K D D I	1.82
9	イビデン	1.73
10	キオクシアホールディングス	1.69

※ファンドのウェイトはマザーファンドの対純資産総額比です。

■ 株式組入上位10業種

	業種	%
1	電気機器	37.87
2	小売業	11.83
3	情報・通信業	10.84
4	化学	4.38
5	機械	4.15
6	サービス業	3.84
7	医薬品	3.82
8	卸売業	3.48
9	輸送用機器	2.68
10	非鉄金属	2.40

※ファンドのウェイトはマザーファンドの対純資産総額比です。

■ 資産構成(%)

株式	99.82
プライム	99.82
スタンダード	0.00
グロース	0.00
その他	0.00
株式先物	0.17
株式実質	99.99
現金その他	0.18

※当ファンドの実質の組入比率です。

日本株インデックスTOPIXファンド

[ご参考 主な投資対象とする投資信託の運用実績・状況] (2026年7月末現在)

国内株式インデックス・ファンドVA(適格機関投資家専用)
ブラックロック・ジャパン株式会社

投資信託の特徴

主としてわが国の証券取引所に上場されている株式に投資を行い、わが国の株式市場全体の長期的成長をとらえることを目標に、ベンチマークに連動する投資成果を目指して運用を行います。
マザーファンド受益証券の組入比率は、原則として高位を維持することを基本とします。

純資産総額

179.98 億円

設定日

2023年3月15日

ベンチマーク

TOPIX(東証株価指数 配当込)

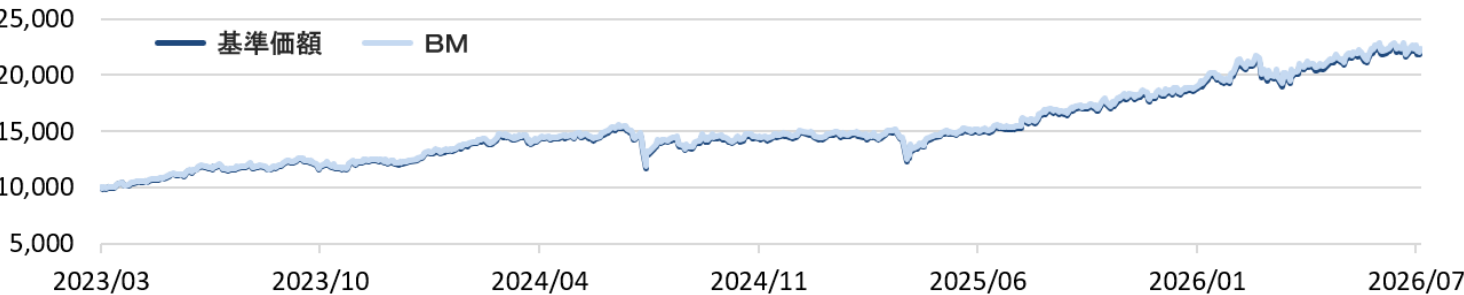
基準価額・ベンチマーク(BM)騰落率 表示桁数未満四捨五入

%	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
基準価額	0.19	7.52	13.46	38.98	84.08	120.71
BM	0.22	7.59	13.57	39.16	84.94	123.61
差異	△0.03	△0.06	△0.11	△0.19	△0.87	△2.90

※基準価額の推移および騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。また、投資信託の騰落率と実際の投資家利回りとは異なります。
※TOPIXに関する著作権等の知的財産権その他一切の権利は株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社に帰属します。

基準価額の推移

※設定日前日を10,000として指数化しています。(税引前分配金再投資)



株式組入上位10銘柄

銘柄数: 1,636

	銘柄	業種	%
1	三菱UFJフィナンシャルG	銀行業	3.88
2	トヨタ自動車	輸送用機器	2.64
3	三井住友フィナンシャルG	銀行業	2.56
4	日立	電気機器	2.34
5	ソニーグループ	電気機器	2.22
6	東京エレクトロン	電気機器	2.04
7	みずほフィナンシャルG	銀行業	1.96
8	ソフトバンクグループ	情報・通信業	1.77
9	アドバンテスト	電気機器	1.71
10	三菱商事	卸売業	1.62

株式組入上位5業種

	業種	%
1	電気機器	20.42
2	銀行業	12.06
3	卸売業	7.30
4	情報・通信業	6.10
5	機械	5.84

市場別構成比率(%)

プライム	97.36
スタンダード	0.29
グロース	0.00
現金等	2.35

※「株式組入上位10銘柄」「株式組入上位5業種」「市場別構成比率」はマザーファンドの純資産総額を100%として計算したものです。
※現金等には株式先物を含みます。

※上記の内容は、ご参考情報として運用会社からの情報を提供するものであり、アクサ生命は内容について一切の責任を負いません。
※資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
※特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分(現金等)を加えて構成されています。
後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。

グローバルグロースファンド

[ご参考 主な投資対象とする投資信託の運用実績・状況]

(2026年7月末現在)

セクション・ジャパン・エクイティ
アーキタス・マルチマネージャー・ヨーロッパ・リミテッド

Selection Japan Equity Class I
Architas Multi-Manager Europe Limited

■ 投資信託の特徴

積極的な分散投資のポートフォリオによる長期的な元本の増大を目的として運用を行います。純資産価額の3分の2以上を、日本を本拠地とする、または日本の規制市場で上場、値付けもしくは取引されている株式に投資することにより、その目的を達成することを目指します。(委託会社は本ファンドの運用について野村アセットマネジメントを副投資マネージャーに任命しました。)

*当投資信託は、円建アイルランド籍外国投資信託です。

■ 純資産総額	■ 設定日	■ 基準価額騰落率 表示桁数未満四捨五入					
1,767.00 億円	2021年4月21日	%	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年
■ ベンチマーク		基準価額	△ 2.33	10.33	19.33	47.95	87.79
なし		設定来	124.36				

※基準価額の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものとして計算しています。また、実際の投資家利回りとは異なります。

■ 基準価額の推移

※設定日を10,000として指数化しています。(税引前分配金再投資)



■ 株式組入上位10銘柄			銘柄数:	85	■ 株式組入上位5業種(%)		
	銘柄	%					
1	SUMITOMO MITSUI FINANCIAL GR	6.53			1	資本財・サービス	24.54
2	SOMPO HOLDINGS INC	3.37			2	一般消費財・サービス	20.83
3	SONY GROUP CORP	3.29			3	金融	20.77
4	MITSUMI & CO LTD	3.29			4	情報技術	17.38
5	ADVANTEST CORP	3.25			5	素材	5.24
6	TOYOTA MOTOR CORP	3.00					
7	RECRUIT HOLDINGS CO LTD	2.96					
8	TOKYO ELECTRON LTD	2.84					
9	SUMITOMO ELECTRIC INDUSTRIES	2.48					
10	ORIX CORP	2.41					

※上記の内容は、ご参考情報として運用会社からの情報を提供するものであり、アクサ生命は内容について一切の責任を負いません。

※資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

※特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分(現金等)を加えて構成されています。

後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。

9

グローバルグロースファンド

[ご参考 主な投資対象とする投資信託の運用実績・状況] (2026年7月末現在)

アクサ・グローバル・エクイティ・セレクション
アーキタス・マルチマネージャー・ヨーロッパ・リミテッド
AXA Global Equity Selection Class I
Architas Multi-Manager Europe Limited

投資信託の特徴

純資産価額の3分の2以上を、主に先進国(日本除く)の規制された市場に籍を置く株式、上場株式、取引価格がある株式、または流通株式に投資することにより、分散を図ったポートフォリオのアクティブ運用による長期的な元本の増大を目的として運用を行います。中長期でインデックスを超える運用成果を追求します。なお、原則として純資産価額の40%程度については同インデックスの動きに連動した投資成果をめざして運用を行います。(委託会社は本ファンドの運用についてJPモルガンアセットマネジメント(UK)リミテッドおよびDWSインターナショナルGmbHを副投資マネージャーに任命しました。)

純資産総額	設定日	基準価額・ベンチマーク(BM)騰落率	表示桁数未満四捨五入					
5,070.00 億円	2024年8月7日	%	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
		基準価額	△1.07	5.02	8.79	21.38	-	51.34
		BM	△1.56	5.93	11.20	26.69	-	59.01
		差異	0.49	△0.91	△2.41	△5.32	-	△7.67

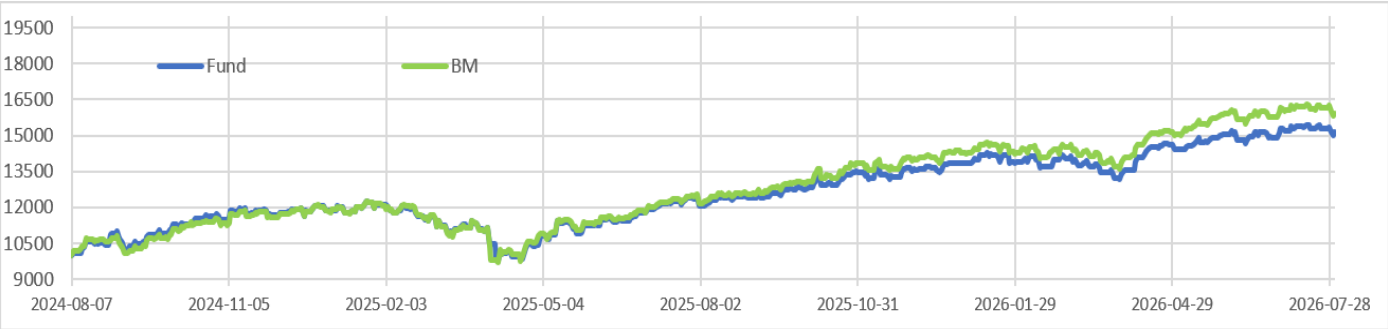
ベンチマーク

MSCIコクサイ・インデックス(円ベース・税引後配当込み)

※基準価額の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものとして計算しています。また、実際の投資家利回りとは異なります。
※MSCIコクサイ・インデックスに関する著作権、知的所有権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

基準価額の推移

※設定日を10,000として指数化しています。(税引前分配金再投資)



株式組入上位10銘柄

銘柄数：1,119

	銘柄	国名	業種	%
1	NVIDIA CORP	アメリカ	情報技術	6.72
2	MICROSOFT CORP	アメリカ	情報技術	4.93
3	APPLE INC	アメリカ	情報技術	4.54
4	AMAZON.COM INC	アメリカ	一般消費財・サービス	4.45
5	ALPHABET INC-CL A	アメリカ	コミュニケーション・サービス	3.63
6	MASTERCARD INC - A	アメリカ	金融	2.40
7	ASML HOLDING NV	オランダ	情報技術	2.03
8	BROADCOM INC	アメリカ	情報技術	2.02
9	JOHNSON & JOHNSON	アメリカ	ヘルスケア	1.94
10	META PLATFORMS INC-CLASS A	アメリカ	コミュニケーション・サービス	1.66

株式組入上位5カ国(%)

1	アメリカ	73.53
2	イギリス	4.63
3	フランス	2.94
4	オランダ	2.63
5	ドイツ	2.25

株式組入上位5業種(%)

1	情報技術	30.90
2	金融	16.59
3	一般消費財・サービス	12.30
4	資本財・サービス	9.57
5	ヘルスケア	9.53

※「株式組入上位10銘柄」「株式組入上位5カ国」「株式組入上位5業種」はマスターファンドの状況で、純資産総額を100%として計算したものです。

※上記の内容は、ご参考情報として運用会社からの情報を提供するものであり、アクサ生命は内容について一切の責任を負いません。
※資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
※特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分(現金等)を加えて構成されています。
後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。

グローバルソブリン債券ファンド

[ご参考 投資信託の運用実績・状況]

(2026年7月末現在)

アクサ・グローバル・ボンド

アーキタス・マルチマネージャー・ヨーロッパ・リミテッド

AXA Global Bond Class I

Architas Multi-Manager Europe Limited

■ 投資信託の特徴

主として世界各国の投資適格債(BBB格以上)に分散投資を行うことで、キャピタルリターンとインカムリターンの両面から、中長期的なトータルリターンの提供を目指した運用を行います。(委託会社は本ファンドの運用についてコルチェスター・グローバル・インベスターズ・リミテッドを副投資マネージャーに任命しました。)

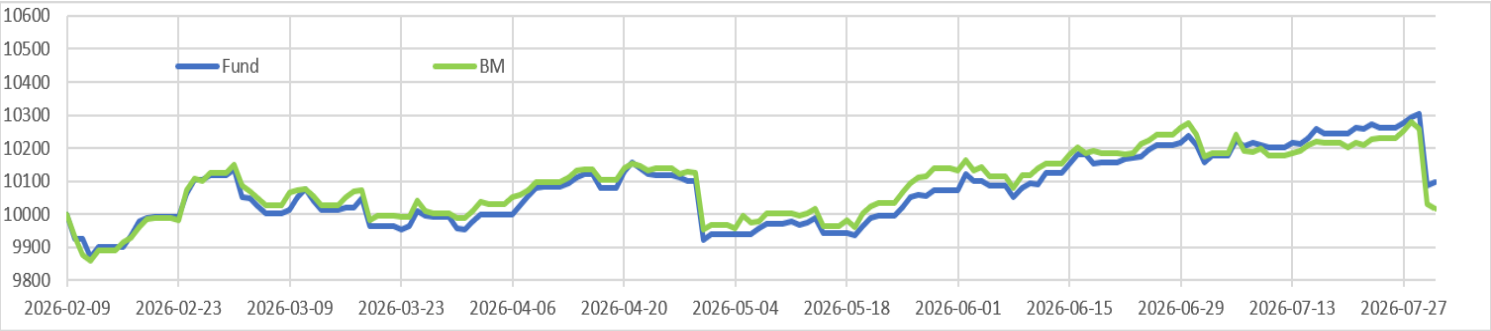
*当投資信託は、円建アイルランド籍外国投資信託です。

■ 純資産総額	■ 設定日	■ 基準価額・ベンチマーク(BM)騰落率 表示桁数未満四捨五入						
688.00 億円	2026年2月9日	%	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
■ ベンチマーク		基準価額	△1.38	1.75	-	-	-	0.97
FTSE世界国債インデックス(円ベース)		BM	△2.52	0.65	-	-	-	0.17
		差異	1.14	1.09	-	-	-	0.80

※基準価額の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものとして計算しています。また、実際の投資家利回りとは異なります。
※FTSE世界国債インデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

■ 基準価額の推移

※設定日を10,000として指数化しています。(税引前分配金再投資)



■ 債券組入上位6銘柄

銘柄数:90

	銘柄	国名	%
1	US TREASURY N/B - 4% 29 Feb 2028	アメリカ	3.83
2	US TREASURY N/B - 4.875% 31 Oct 2028	アメリカ	3.64
3	POLAND GOVERNMENT BOND - 2% 25 Aug 2036	ポーランド	3.40
4	US TREASURY N/B - 4.125% 31 Jul 2031	アメリカ	3.10
5	MEX BONOS DESARR FIX RT - 7.75% 23 Nov 2034	メキシコ	2.68
6	US TREASURY N/B - 4.125% 28 Feb 2027	アメリカ	2.67

■ 債券組入上位5カ国(%)

1	アメリカ	22.97
2	メキシコ	11.62
3	ニュージーランド	9.67
4	オーストラリア	7.43
5	インドネシア	6.61

■ 格付別構成比率(%)

AAA	25.80
AA	26.70
A	5.69
BBB	14.09
BB or Lower	0.00
Not Rated	25.39

※上記の内容は、ご参考情報として運用会社からの情報を提供するものであり、アクサ生命は内容について一切の責任を負いません。
※資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
※特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分(現金等)を加えて構成されています。
後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。

グローバルリートファンド

[ご参考 主な投資対象とする投資信託の運用実績・状況]

(2026年7月末現在)

日興グローバルREITファンド(6カ月決算型)

(運用会社)アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社 (投資再委託会社)ノムラ・インベストメント・マネジメント・アドバイザーズ

■ 投資信託の特徴

世界各国の上場不動産投信(REIT)を中心に投資を行ない、比較的高い分配金利回りを安定的に獲得しつつ、中長期的な信託財産の成長をめざします。

■ 純資産総額

6 億円

■ 設定日

2004年7月1日

■ 基準価額騰落率 表示桁数未満四捨五入

%	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
基準価額	0.43	6.77	19.01	26.98	51.28	393.48
参考指数	0.57	6.98	17.53	27.12	51.65	457.29
差異	△ 0.13	△ 0.20	1.48	△ 0.15	△ 0.38	△ 63.81

■ 参考指数

S&P先進国REIT指数(税引後配当込み、ヘッジなし・円ベース)

※基準価額の騰落率は、分配金(税引前)を再投資し計算しています。
※S&P先進国REIT指数に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利はS&P社に帰属します。

■ 国別組入上位投資比率

	国名	%
1	アメリカ	75.75
2	日本	6.18
3	オーストラリア	5.81
4	シンガポール	3.41
5	イギリス	3.18
6	フランス	2.28
7	香港	1.27
8	ベルギー	0.78
9	スペイン	0.76
10	カナダ	0.57

■ 予想分配金利回り (%)

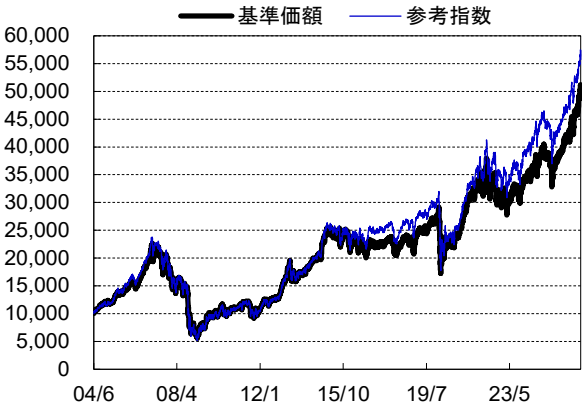
ファンド全体		3.40
地域別	アメリカ	3.23
	カナダ	3.93
	オーストラリア	2.00
	欧州	4.84
	イギリス	5.04
	その他	5.19

■ 資産構成比 (%)

不動産投信	94.7
現金その他	5.3

■ 基準価額の推移

※設定日の前営業日を10,000として指数化しています。



■ 基準価額騰落の要因分解

前月末基準価額		7,547円
当月お支払した分配金		△90円
要因	不動産投信	102円
	アメリカ	66円
	カナダ	2円
	オーストラリア	△26円
	欧州	1円
	イギリス	25円
	その他	34円
	為替	△59円
	米ドル	△59円
	加ドル	0円
	豪ドル	6円
	ユーロ	△0円
	英ポンド	△1円
	その他	△5円
	その他	△11円
	小計	32円
当月末基準価額		7,489円

※上記の要因分解は、概算値であり、実際の基準価額の変動を正確に説明するものではありません。
傾向を知るための参考値としてご覧ください。
※予想分配金利回りは、月末時点で組み入れている各不動産投信の予想分配金利回りを
マザーファンド全体、あるいは地域別で不動産投信時価評価額のウェイトで加重平均したものです。

マネーファンド

[ご参考 主な投資対象とする投資信託の運用実績・状況] (2026年7月末現在)

アクサ ローゼンバーグ・日本円マネー・プール・ファンド(B)〈適格機関投資家私募〉
BNPパリバ・アセットマネジメント株式会社

投資信託の特徴

マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に、主として円建ての短期公社債や短期金融商品に投資し、安定した収益の確保をめざします。

純資産総額

18 億円

設定日

2000年12月21日

ベンチマーク

日本円無担保コールオーバーナイト物レートにより日々運用したときに得られる投資収益を指数化したもの

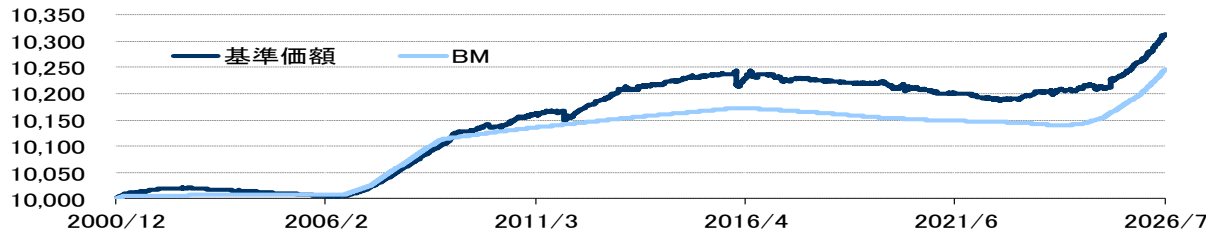
基準価額・ベンチマーク(BM)騰落率 表示桁数未満四捨五入

%	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
基準価額	0.07	0.24	0.45	0.75	1.08	3.14
BM	0.08	0.21	0.39	0.66	1.04	2.47
差異	△0.02	0.03	0.05	0.09	0.04	0.67

※基準価額の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものとして計算しています。また、実際の投資家利回りとは異なります。

基準価額の推移

※設定日の前日を10,000として指数化しています。(税引前分配金再投資)



資産構成

	修正デュレーション	%
公社債	0.62年	59.81
国債	0.00年	0.00
地方債	0.00年	0.00
特殊債・財投債	0.17年	4.66
金融債	0.00年	0.00
社債等	0.65年	55.15
その他	0.00年	0.00
短期資産等	0.68年	40.19
CD		0.00
CP		0.00
T-Bill		39.29
コールローン		0.73
その他		0.17
合計	0.64年	100.00

格付別構成比率

公社債		短期資産等	
格付区分	%	格付区分	%
AAA	0.00	P-1	0.00
AA	0.00	P-2	0.00
A	100.00	P-3	0.00
BBB	0.00	無格付	0.00
BB以下(無格付含)	0.00		

※比率は、マザーファンド受益証券における純資産総額比となります。
※「T-Bill」には、残存期間が1年未満の国債を含みます。
※「修正デュレーション」とは、債券価格の弾力性を示す指標として用いられ金利の変化に対する債券価格の変動率を示します。

格付基準：※海外格付機関の格付を優先します。
※コールローンは格付別構成比率には含めていません。
(公社債の格付別構成比率と短期資産等の格付別構成比率の合計が100%になります。)
※海外格付機関の格付取得の無い発行体は、国内格付機関の格付けを採用します。
※T-Bill等国債同等の無格付短期資産においては短期格付をP-1格とします。
※T-Billに分類された1年未満の国債については公社債の格付別構成比率に含めています。

※上記の内容は、ご参考情報として運用会社からの情報を提供するものであり、アクサ生命は内容について一切の責任を負いません。
※資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
※特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分(現金等)を加えて構成されています。
後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。

当保険商品のリスク・諸費用・ご留意いただきたい事項

⚠ 投資リスクについて

当保険商品の据置（運用）期間中の運用は特別勘定で行われます。特別勘定資産の運用実績に基づいて年金額、死亡保険金額および解約払戻金額等が変動（増減）します。特別勘定資産の運用は、株式および公社債等の価格変動と為替変動等にもなる投資リスクがあり、運用実績によってはお受け取りになる満期保険金額や解約払戻金額の合計額が一時払保険料を下回ることがあります。これらのリスクはすべてご契約者に帰属します。

⚠ 元本欠損が生じる場合があります

解約の時期、被保険者の契約年齢等の諸条件により、ご契約者等がお受け取りになる金額の合計額が、払込保険料の合計額を下回る場合があります。保険会社の業務又は財産の状況の変化により、保険金額、給付金額、解約払戻金額等が削減されることがあります。

⚠ 諸費用について

諸費用について	ご契約の締結・維持、死亡保障にかかる費用および特別勘定の運用にかかる費用があります。払込保険料からこれらの費用を差し引き、残りを運用対象額として特別勘定に繰り入れます。したがって、払込保険料の全額が特別勘定で運用されるものではありません。なお、これらの費用は、性別・契約年齢などによって異なり、金額や割合を表示することができませんのでご了承ください。また、これらの費用はご契約後、特別勘定からも定期的に控除されます。	
移転費	積立金の移転が年間13回以上のとき、移転一回につき1,000円を、保険会社が移転を受け付けた日末に積立金から控除します。	
資産運用関係費	日本株投資力学ファンド	年率1.7600%程度
	日本株ジパングファンド	年率1.4520%～1.8920%程度 ^{*1}
	日本株エボリューションファンド	年率1.7490%程度
	日本株インデックス225ファンド	年率0.4400%程度
	日本株インデックスTOPIXファンド	年率0.0605%程度
	グローバルグロースファンド	年率0.51155%程度
	グローバルソブリン債券ファンド	年率0.4500%程度
	グローバルリートファンド	年率1.6500%程度
	マネーファンド	年率 0.03575%～0.50600%程度 ^{*2}

資産運用関係費は将来変更されることがあります。
その他お客さまにご負担いただく手数料には、信託事務の諸費用等、有価証券の売買委託手数料および消費税等の税金がかかりますが、費用の発生前に金額や割合を確定することが困難なため表示することができません。また、これらの費用は各特別勘定がその保有資産から負担するため、基準価額に反映することとなります。したがって、ご契約者はこれらの費用を間接的に負担することとなります。
^{*1}特別勘定「日本株ジパングファンド」の投資信託の信託報酬は、投資信託の運用実績により変動します。
^{*2}特別勘定「マネーファンド」の投資信託の信託報酬は、各月の前月最終5営業日における無担保コールオーバーナイト物レートの平均値に応じて毎月見直されます。

⚠ その他ご留意いただきたい事項

当保険商品は、生命保険商品であり投資信託ではありません。また、ご契約者が投資信託を直接に保有されている訳ではありません。特別勘定資産の運用実績は、特別勘定が主な投資対象とする投資信託の運用実績とは異なり、一致するものではありません。これは、特別勘定は投資信託のほかに、保険契約の異動等に備えて一定の現預金等を保有していることや、積立金の計算にあたり投資信託の値動きには反映されていない保険にかかる費用等を特別勘定資産から控除していることなどによるものです。当保険商品の詳細につきましては、「契約締結前交付書面（契約概要/注意喚起情報）」（「特に重要なお知らせ（注意喚起情報）」）「ご契約のしおり・約款」「特別勘定のしおり」などをご覧ください。ご契約の時期によっては、書面の種類や名称などが異なる場合があります。